

子供企画型 レポート

テーマ

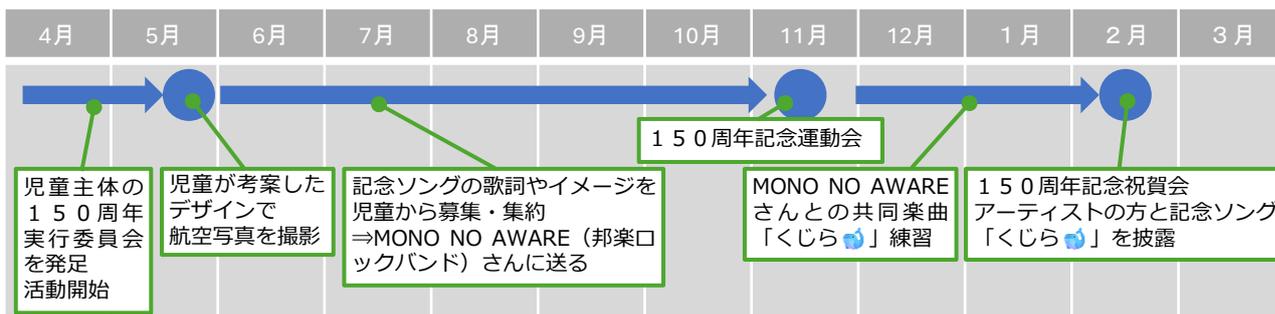
大変なことも乗り越えての150周年！みんなで盛り上げよう！

八丈町立三根小学校

教育計画上の
のねらい

- 1 創立150周年の学校行事において、児童主体の企画を取り入れるとともに、地域との連携を一層充実させることにより、児童一人一人が主体的に参加し、学校全体で周年行事を盛り上げようとする意欲を育む。また、本取組を通して、学校愛や地域愛、八丈島への郷土愛を高める。
- 2 本プロジェクトでしかできない活動を進め実現することで、児童が達成感や成就感を十分に味わう機会を創出し、自己肯定感の向上につなげていく。

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった児童・生徒

「150周年実行委員のやることも積極的に意見を言ったりすることができたし、祝賀会一部も盛り上がっていて楽しかったから、実行委員を頑張ってたかった。」「みんなで集まって、いろいろと準備するのが疲れたけれど、楽しかったです。」

参加した児童・生徒

「MONO NO AWAREさんとくじらを歌えて、地域の人たちも嬉しそうだった。」「みんなが笑顔になると、自分も笑顔になったし、会場の空気が穏やかになった。」「緊張したけれど、祝賀会で自分が思った事を言えたから、祝賀会も大成功したと思う。」

取組・実践



出発式の様子（保護者・地域・教職員の前で）

どうする？150周年の目玉？

150周年を盛り上げるために「周年実行委員会」を立ち上げ、4年生から6年生までの計26名が、記念行事、記念誌、環境美化、広報会計、祝賀会、タイムカプセルの6つのチームに分かれて、それぞれの役割のもと企画・準備にあたった。本校の卒業生が所属する音楽グループMONO NO AWAREさんに楽曲制作を依頼し、快諾してもらったことで特別感が増した。子供たちは自らのアイデアと力で作り上げる記念行事に向けて、意欲を高めて取り組んでいた。



島のおばたちと共に出演した周年の広場の様子

高まるお祝いムード！

創立150周年を記念し、各学年の発表を「周年の広場」として実施した。各学年がそれぞれの方法でお祝いムードを盛り上げることができた。寸劇、合唱、クイズ、ダンス、リズム奏など工夫を凝らした出し物は見応えがあり、発表を見た保護者や地域の方々からも「元気をもらった」「2月1日の当日が楽しみ」といった声が多く聞かれた。どの学年においても自分たちらしく表現しようと仲間と協力して準備する姿が見られた。



MONO NO AWAREの皆さんとの合唱「くじら」の様子

大成功！150周年記念祝賀会

当日は、子供たちが司会や挨拶を務め、主体的に会を進行した。また、自分たちで企画した横断幕の作成やダンスの発表にも楽しみながら参加することができた。当日に、MONO NO AWAREの皆さんと参加されたすべての方と歌った150周年記念ソング「くじら」は圧巻だった。約1年をかけて準備した、子供たちによる、子供たちのための祝賀会第1部を大盛況で終えることができたのが、何よりだった。参加された来賓、保護者・地域の方々も終始笑顔でご覧になっていた。

成果

実施後のアンケートの結果、90%以上の児童が「MONO NO AWAREさんと「くじら」を気持ちよく歌えた」と回答した。また「この取組に満足している」と答えた児童が90%に迫るなど、今回の活動を通して「150周年という特別な行事の中で、みんなと一緒に取り組み、音楽や劇、特別ゲストとの合唱等を通して達成感と一体感を味わえたこと、その経験から楽しかった、誇らしい、またやりたいという気持ちが生まれたこと」が成果と言える。